

15. 動物愛護について（問40～問41）

問40 豊橋市では、犬や猫などの適正な飼い方に関する指導・啓発、保護された犬や猫の新たな飼い主への譲り渡し、地域猫活動への支援などに取り組んでいます。こうした取り組みを踏まえ、人と動物との共生を目指した動物の愛護や管理に関する豊橋市の現状について満足していますか。

【あてはまるものを1つ】

（n=2,428）

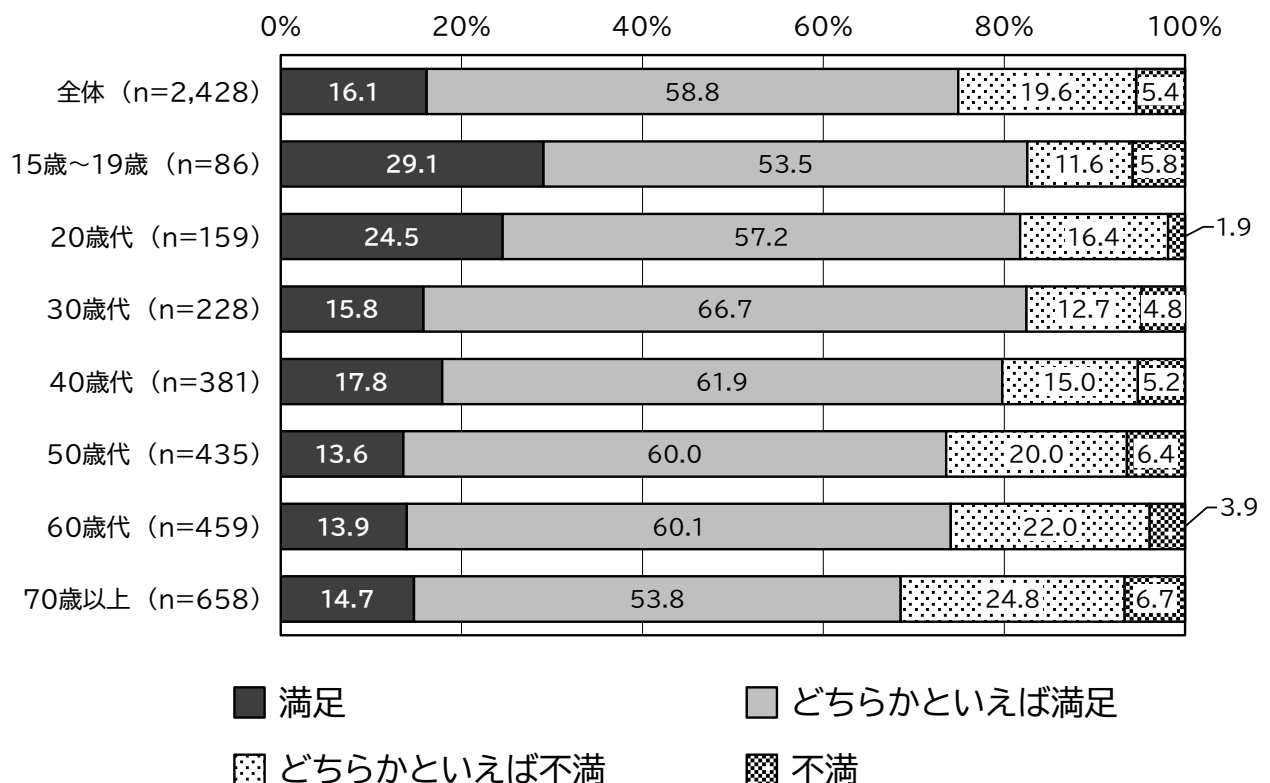
（1）全体的傾向

「どちらかといえば満足」と回答した人の割合が 58.8%と最も高くなっている。「満足」と回答した人を合わせた割合が 74.9%となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合が 53.5～66.7%で最も高くなっている。なお、「満足」と回答した人を合わせた割合は、68.5～82.6%となっている。

15 歳～19 歳、20 歳代では、「満足」と回答した人の割合が 24.5～29.1%と他の年代と比べて高くなっている。



問41 豊橋市では、動物の愛護や管理のさらなる推進のため、令和7年10月上旬の開所に向け、動物愛護センターの整備を進めています。動物愛護センターに、どのような取り組みを期待しますか。

【あてはまるものを3つまで】
(n=2,486)

(1) 全体的傾向

「保護された動物の新たな飼い主への譲り渡し」と回答した人の割合が53.6%と最も高くなっている。次いで「動物の適正な飼い方に関する啓発」が52.6%、「保護された動物の心身の健康に配慮した適正な飼育」が43.8%となっている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「保護された動物の新たな飼い主への譲り渡し」は、43.4~59.7%と高くなっている。特に15歳~19歳、40歳代から60歳代では最も高くなっている。20歳代、30歳代、70歳以上では、「動物の適正な飼い方に関する啓発」が48.9~58.6%と最も高くなっている。

なお、年代が上がるほど「保護された動物の心身の健康に配慮した適正な飼育」と回答した人の割合が低くなる傾向がある。

